

# 会 議 録

## 1 会議名

平成30年度 第2回頸城区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 協議事項（公開）

○平成30年度頸城区地域活動支援事業について  
（提案事業プレゼンテーション）

### (2) その他（公開）

## 3 開催日時

平成30年5月9日（水）午後6時00分から午後9時35分まで

## 4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

## 5 傍聴人の数

5人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：井部辰男（会長）、関川正平（副会長）石野敏、上村闔一、笠原昇治、  
佐藤学、佐野喜治、滝本篤透、西巻肇、芳賀芳明、橋本博太、船木貴幸、  
望月博、山本光夫、山本誠信、横山一雄（委員16人中16人出席）
- ・ 事務局：頸城区総合事務所 橋立所長、石野次長、八幡市民生活・福祉グループ長、  
稲田教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ村山班長、田中主査、  
山崎主任、古川主任（以下グループ長はG長と表記）

## 8 発言の内容

### 【石野次長】

- ・ 会議の開催を宣言

### 【井部会長】

- ・ 挨拶

### 【石野次長】

- ・委員の欠席なし
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：滝本委員、西巻委員に依頼

**【井部会長】**

協議事項「平成30年度頸城区地域活動支援事業について」募集状況を報告し、プレゼンテーションの実施方法について事務局に説明を求める。

**【古川主任】**

プレゼンテーションの進め方について説明

**【井部会長】**

- ・事務局の説明について質疑を求めるがなし。
- ・No.1「中部農道等景観整備事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

**【提案団体】（くびき 花の会）**

No.1「中部農道等景観整備事業」について提出資料をもとに説明

**【井部会長】**

- ・委員に質疑等を求める。

**【横山委員】**

事業名は「中部農道等景観整備事業」ということで「等」が入っているが、中部農道を全面的にやったほうが良いと思う。

**【井部会長】**

- ・他に質疑等を求める。

**【芳賀委員】**

明治地区で池の近くに花を植えたいという方もいるので、そういう人達とも連絡を取り合い、手を広げていければと思う。

**【井部会長】**

- ・他に質疑等を求める。

**【船木委員】**

交通費・ガソリン代だが、これはどこにチラシを配るのか。

**【提案団体】**（くびき 花の会）

去年は、それぞれの会員がお店や自分の友達に配ったりした。一枚ずつ配るわけではなく、それぞれのお店や食べ物屋さんにおいてもらったりした。

**【井部会長】**

- ・他に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.2 「いきいき人生(爺婆)笑って元気事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

**【提案団体】**（公民館明治分館協議会）

No.2 「いきいき人生(爺婆)笑って元気事業」について提出資料をもとに説明

**【井部会長】**

- ・委員に質疑等を求める。

**【船木委員】**

質問12と14でパソコンの必要性という質問があるがそのへんはどうお考えか。

**【提案団体】**（公民館明治分館協議会）

パソコンについては事前準備でチラシの作成、地区の連絡委員への案内を作成するのに必要かと思う。また参加者の名簿、個別体験カード、あるいはグループ作成等、こういったものにもパソコンは必要不可欠である。

**【井部会長】**

- ・他に質疑等を求める。

**【石野委員】**

個別体験カードというのはどんな様式、どういう物をイメージしているのか。

**【提案団体】**（公民館明治分館協議会）

具体的に多種類の活動、囲碁や将棋、卓球とかいろいろな活動をそこに集中して体験するだけではなく、いろいろな体験を積んでいただくための、具体的な個別の名前が書いたカードを作ろうと考えている。

**【石野委員】**

一枚のシートを見ると、どこまでやられたか、わかるということか。

**【提案団体】**（公民館明治分館協議会）

そうしたいと思っている。

**【井部会長】**

- ・他に質疑等を求める。

**【滝本委員】**

活動される所で備品がかなり沢山あるが、保管の仕方を聞きたい。また備品が削られた場合、継続される意思があるか。

**【提案団体】（公民館明治分館協議会）**

今の所、現状では運営委員のパソコン、プリンター等を使って活動を行っているが、今回映写会、発表会、講演会等を計画しているのでプロジェクター等を使えればと考えている。

**【滝本委員】**

備品がもしカットされた場合、継続の意思はあるか。

**【提案団体】（公民館明治分館協議会）**

プロジェクター等が使えないとその部分の予算は、削らなければいけない。

**【井部会長】**

- ・他に質疑等を求める。

**【笠原委員】**

現在も社会福祉協議会、振興会でも同事業をやっているが、そのあたりの活用と今現在の参加率などを聞きたい。

**【提案団体】（公民館明治分館協議会）**

この事業が一年で終わるのではなく長く続けていくためには、備品もその都度お借りするのではなく、ずっと大事に使っていきたいと考えたので計上した。

参加率等については把握していない。

**【芳賀委員】**

パソコンの購入が事業費の3分の2で、全体に占める割合が高すぎるので、パソコンの購入は次回にして、今年うまくいくようなら来年また申請したらどうか。

**【井部会長】**

- ・時間になったので審査を終了
- ・No.3「冬期区民スポーツ大会開催事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。（滝本委員 退席）
- ・提案団体に事業の説明を求める。

**【提案団体】**（頸城体育協会）

No.3 「冬期区民スポーツ大会開催事業」について提出資料をもとに説明

**【井部会長】**

- ・委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.4 「健康増進普及事業（ファミリーウォーキングとレクリエーション）」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。（滝本委員 退席）
- ・提案団体に事業の説明を求める。

**【提案団体】**（NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ）

No.4 「健康増進普及事業（ファミリーウォーキングとレクリエーション）」について提出資料をもとに説明

**【井部会長】**

- ・委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.5 「健康増進普及事業（卓球大会）」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。（滝本委員 退席）
- ・提案団体に事業の説明を求める。

**【提案団体】**（NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ）

No.5 「健康増進普及事業（卓球大会）」について提出資料をもとに説明

**【井部会長】**

- ・委員に質疑等を求める。

**【芳賀委員】**

年に一回だけで普及するのか。

**【提案団体】**（NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ）

年に一回では普及しないと思うので、それを足掛かりにして卓球教室など随時開いていきたい。

**【芳賀委員】**

ここには年に一回の予定になっているが。

**【提案団体】**（NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ）

大会という形では年に一回。まだ運営もしたことがないので、これを機会に大会運営としてやっていきたい。活動という形では練習や教室、部活動の指導として卓球台

の使用頻度はこれから上がってくると思う。

**【井部会長】**

・他に質疑等を求める。

**【西巻委員】**

昨年も働き盛り世代のスポーツによる生活改善推進事業をされたが、昨年の事業というのは今後どのように続けていくのか。

**【提案団体】（NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ）**

昨年からの継続事業でこれから実施する予定である。既に昨年も参加された方から問い合わせがあり6、7月スタートという形でこれから案内を出していきたい。

**【井部会長】**

・他に質疑等を求める。

**【笠原委員】**

学校開放も活用しながら、中学校の卓球台も借りられる中でより効果的に増えていくのではないかと思うがどう考えているか。

**【提案団体】（NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ）**

台が20年ぐらい経っているが、中学校にそんなに新しい台がないので、台自体を塗り直すという作業をしないと大会として成立しないのが現状である。

普及するということを第一の目的にしているので、中学校とも連携をしながらやっていきたい。

**【井部会長】**

・他に質疑等を求める。

**【船木委員】**

B&Gに卓球台が3台あったような気がする。その2、3台の卓球台の実働、貸し出し実績はどうか。

**【提案団体】（NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ）**

B&G開設当時からずっとある台で、少し変形していたりして試合として使えるような状態ではない。台の現在の稼働実績は、直接卓球台を管理している団体ではないので実際の実働日数や利用人数は把握していないが、卓球の利用者はほぼ週に3、4日は目にする。

**【井部会長】**

- ・他に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.6「頸城区民のための文化振興事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。(望月委員 退席)
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】(くびき文化協会)

No.6「頸城区民のための文化振興事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.7「白田邸環境整備事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。(笠原委員、船木委員 退席)
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】(白田邸保存会)

No.7「白田邸環境整備事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める。

【石野委員】

今回50万円程の提案で、今後総額としてどれぐらい掛かるか。

【提案団体】(白田邸保存会)

総額ということは今後も私どもが望んでいる状態にするためにということか。

【石野委員】

そうである。

【提案団体】(白田邸保存会)

200万円ぐらいは掛かる。

【石野委員】

例えば200万円掛かるという物を一気にやって、できあがった状態を見ていただくことは考えられないか。

【提案団体】(白田邸保存会)

歴史的な部分があるので一度に庭園を造るというようなことではなく、時間を掛けてやる。とにかく急いでやりたいというのは昨年秋に台風並みの大風が吹いた。その中で7本ぐらい倒れそうな杉がある。これは中の方なのでレッカーも入れられないし

最終的には伐採をしなければならないだろう。とりあえず昨年のような風が吹くと倒れてしまうので、少なくとも枝払いをして時間を稼ぎたいと考えている。

**【佐野委員】**

先ほどの事前質問の回答の中で最後までお答えいただけていない部分があるかと思うので、この時間の中でお答えいただきたい。

**【提案団体】（白田邸保存会）**

質問2番目の構成団体の人数は、役員を含め会員は約35人で今年はまだ少し増えるだろうと期待している。くびきのお宝のこす会との連携という質問が出ているが、現時点では考えていない。

**【井部会長】**

- ・他に質疑等を求める。

**【西巻委員】**

長く続けることが一番必要なことだと思うが地元の協力、同意というのが一番大切なのかと考える。地元町内会の森本の賛同、理解は得られているか。

**【提案団体】（白田邸保存会）**

なかなか難しいところではあるが、イベント等の前には挨拶に伺った。一回目の整備段階で地元が困っていることを町内会長等から聞きとり、第一にやらせていただいた。

**【井部会長】**

- ・時間になったので審査を終了
- ・No.8「雁金城跡保存・PR事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

**【提案団体】（雁金城跡保存会）**

No.8「雁金城跡保存・PR事業」について提出資料をもとに説明

**【井部会長】**

- ・委員に質疑等を求める。

**【西巻委員】**

自然相手ということで非常に整備には時間も労力も必要だと思う。私達町内でも同じようなことを考えている。



ボランティアを募るのであれば受け入れ態勢等々どのようにお考えか。

**【提案団体】（雁金城跡保存会）**

保存会の作業は、草むしりではなく、非常に急な斜面を草刈りしたり、杭を打ったりするという危険を伴う作業であり、今まで若者自然塾に人と人との繋がりをお願いしてきた。会員の高齢化もあり、今まで昼間やっていた作業を朝の5時半から、去年からやるようになった。ただし、杭打ち等は朝できないのでバランス良く作業に当たりたいと思っている。

**【井部会長】**

- ・他に質疑等を求める。

**【笠原委員】**

マスコミに情報提供をすると取り上げてくれるので、是非そういう形をどんどん取っていただきたい。

**【提案団体】（雁金城跡保存会）**

J C Vもやっていただけるので、是非今年はそれらの活動も積極的にやろうかと思っている。

**【井部会長】**

- ・他に質疑等を求めるがなかったなので、審査を終了
- ・No.9「くびき野レールパーク公開及び軌道改良・車輜修理事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。（笠原委員、船木委員 退席）
- ・提案団体に事業の説明を求める。

**【提案団体】（NPO法人くびきのお宝のこす会）**

No.9「くびき野レールパーク公開及び軌道改良・車輜修理事業」について提出資料をもとに説明

**【井部会長】**

- ・委員に質疑等を求める。

**【石野委員】**

添付されている資料の見積書でシビル旭の内訳書の1ページで撤去工事が3項目あるが2,800円、108,000円、40,500円。これを3つ足すと151,300円になるが40,500円が足してないようだ。

**【提案団体】**（NPO法人くびきのお宝のこす会）

業者の内訳書なので細かいところまでは何ともお答えできない部分があるが確かに違っている。

**【石野委員】**

40,500円を足し忘れたとして、工事費合計金額は間違いである。計算間違いがあったということが一点、相見積の内訳書の2番の諸経費欄40%とあるが、一般的には10%が諸経費というイメージをしているが、このへんの見解を教えてください。

**【提案団体】**（NPO法人くびきのお宝のこす会）

これまでこういった工事の時に諸経費を10%ぐらいというふうに出した覚えがある。なぜここで40%なのかということは第一建設工業に聞いてみないと私自身答えることができない。

**【石野委員】**

非常に失礼なことだが相見積であれ、お宝のこす会として見積もりを取っているわけだから当然その中の計算間違いはもちろん、今のように諸経費がかけ離れているような記述があった場合は確認をすべきだ。

**【提案団体】**（NPO法人くびきのお宝のこす会）

見積書を受けた段階で大丈夫だろうということで中身の方まできちんと詳しく見ていなかった部分がある。

**【井部会長】**

添付書類の内容と提案書等、異なっていることになれば修正を求めなければならないのか。再度修正提案をするか、それともこの場で修正して委員の皆さんの承諾を得るかどちらか。

**【村山班長】**

結果的に事業費が上がるということになる。

**【石野委員】**

厳密には40,500円と消費税。

**【村山班長】**

歳出の経費が膨らむが補助希望額は変更できないので、今後採択後、金額の変更もあると思う。補助額はそのままとしてその差額分は自己財源になると考える。

**【井部会長】**

事務局の見解を聞きたい。

**【村山班長】**

事業費はこの場で提案をすぐ直せないで、今後採択された場合には事業費を今後変更の支出額になり、補助金額はこのままとして差額は申請団体からの持ち出しになると考えている。

**【井部会長】**

今、質問の時間は止めてある。

**【上村委員】**

求められた事業費より自己負担が多いからこれで良いというわけにはいかない。補助金の数字は自分たちがやろうとした金額に対しての希望額で、結果だけあればどうでもいいというような事務局判断は間違いだと思う。

**【佐野委員】**

上村委員に賛成だが、最終的にもう少しこの後委員の中で摺り合わせがあると思うのでその中で確定したらどうか。

**【井部会長】**

プレゼンテーションがこの後も残っているので、最後に回し修正をしたもので皆さんから意見を聞くというようにしたらどうか。

**【村山班長】**

一旦、お宝のこす会には退席していただき、控室で修正して頂いてそれを再配布していただくということも、お許しいただけるのであれば再度提案させていただきたい。

**【滝本委員】**

あくまで提案書という形で来ているので、申請の段階じゃないのでこれは数字を訂正してもう一度提案し直してもらおうという形でいいのではないかな。

**【井部会長】**

今日はここで決めるもので、皆さんのご意見を受けてここで決めていただく。

**【滝本委員】**

会長がおっしゃった通り、後に回してもらって数字を修正していただいてもう一度お話していただければと思う。

**【村山班長】**

ただ一点心配なのが、見積書の誤りがあるが見積書を勝手に直せない。

**【井部会長】**

委員の皆さんの意見を聞きたい。

**【石野委員】**

皆さん長年やられてきているすばらしい今回の事業でもあり、何とかうまくまとめていただく方法や知恵を出していただければと思う。

**【上村委員】**

少なくとも期限を決めて受付をして中身の数字が4万円は低額ではないので、しかも第三者が書かれた数字が間違っているということで、もう一回出直していただくというのが筋ではないか。

**【村山班長】**

見積額の総額602,000円。その1.08掛けたのが650,160円。内訳書の誤りということであるので、通常であれば内訳書を出すか出さないかというのはあるかと思うが、総額602,000円、税込み650,160円の見積書を業者からいただくというのはたぶん一般的な考え方である。

**【井部会長】**

今お聞きのように、いずれにしろ提案した内容について添付書類を含めて、これでは不備であるので再度提出をいただくことになると思う。

とりあえずプレゼンの10番を進めていく。

- ・ 中断として、NPO法人くびきのお宝のこす会は退席。
- ・ No.10「バスケットボールを通じての地域活性及び青少年の健全育成事業」について審査を開始
- ・ 審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・ 提案団体に事業の説明を求める

**【提案団体】（マリンドリームズやちほ）**

- ・ No.10「バスケットボールを通じての地域活性及び青少年の健全育成事業」について提出資料をもとに説明

**【井部会長】**

- ・ 委員に質疑等を求める

**【上村委員】**

頸城が増えてきているということだが、現在11人で今後は増える予定はあるのか。  
区を跨いでの申請は初めてだが、どうしてこういうふうと考えられたか。

**【提案団体】**（マリンドリームズやちほ）

今後増やすには、ポスターを作り、今後体験会などを開く予定である。

区を跨いでとのことだが、八千浦地区で遠征代、物品など助成金申請を上げていたが、今年から助成金は八千浦小の人数しか出せないと言われ、頸城区11人、大湊区8人となっているので頸城区、大湊区の方にも助成金の提案をしたらいかがかと言われ申請した。

**【井部会長】**

・他に質疑等を求める。

**【山本誠信委員】**

こういう組織からの申請でやっているかわからないが相当遠征費が掛かるのは事実。今まで八千浦区地域協議会でずっと毎年補助を受けていたのか。

**【提案団体】**（マリンドリームズやちほ）

八千浦区で10年ほど申請を上げて、今まで頂いている。子供たちが好きでやっていることに、地域からお金を頂くことはどうかというお話は以前にもあったが、現在会費自体が安いということもあり、遠征費などもかなり大きくなっているため、負担を少し減らせればというのもあり、今回申請をさせて頂いている。

**【上村委員】**

地域を跨いで一緒に3地区で一つの事業を助けるということを想定していなかったため事務局もたぶん戸惑ったと思う。

頸城を元気にするためという前提があり、地域住民自ら取り組んだものについてという線がある。

**【提案団体】**（マリンドリームズやちほ）

八千浦区では毎年申請を出していたが、物品が必要な時は物品を上げていて、他は青少年の健全育成のためのスポーツ振興で遠征費を上げて毎年認められていたので今回も同じ形で22分の11の人数割りで各地区に申請を出させて頂いた。

**【山本光夫委員】**

遠征というと土曜、日曜ではないかと推測するが、それであれば高速代金は出された金額ではなくETC2.0割引料金が通常の見積書ではないかと思うがいかがか。

【提案団体】（マリンドリームズやちほ）

E T Cカードで見た金額を載せたつもりだった。

【山本光夫委員】

それは通常の価格で、E T C 2.0割引料金を載せるべきではないかと思う。

【佐藤委員】

月会費というのは今後上げられないのか。

【提案団体】（マリンドリームズやちほ）

今後、コーチと会員の中で検討し考えて行きたい。

【井部会長】

- ・時間になったので、審査を終了
- ・No.1 1 「頸城区のまちづくり活性化事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（頸城中学校後援会）

No.1 1 「頸城区のまちづくり活性化事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める。

【芳賀委員】

全校生徒の分を揃えるということは、よさこい踊りは必ず全校参加でやるということになるのか。

【提案団体】（頸城中学校後援会）

まず体育祭では全校生徒でやる。その他ご依頼があれば会場にもよるが、会場に見合った人数で参加するという形も考えている。

【笠原委員】

立派な物を揃えてもらったので是非参加したいといった主体的な考えを持って頂きたい。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求めるが、なかったので審査を終了
- ・No.1 2 「頸城区の若者の繋がりを強化し、地域の活力とする事業」について審査を開始

- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

**【提案団体】**（頸城活性化プロジェクト）

No.1 2 「頸城区の若者の繋がりを強化し、地域の活力とする事業」について提出資料をもとに説明

**【井部会長】**

- ・委員に質疑等を求める。

**【佐藤委員】**

平成29年度に10人が集まって何をされたのかももう一度詳しく、どんなことについて話し合い、どんな交流を持ったか、どんな人たちが集まったかを教えて頂きたい。

**【提案団体】**（頸城活性化プロジェクト）

具体的には我々の事業の目的をまず説明し、参加者が今どんなことをやって、どんなことができるのか話し合い、交流を深めた。参加者は個人事業主、学校の先生、観光の事業をしていた人や金融関係や通常の会社員、サラリーマンだった。

**【船木委員】**

何をしたいのか。自分たち特有のイベント・企画じゃないとダメなのか。

**【提案団体】**（頸城活性化プロジェクト）

新しいことを始めて継続していくこともそうだが、やってみてそれでもなければやめてもいいと思っている。それが今一つの結果であれば中身を変えてやってみるとか、全くやめてしまうとか考えている。

**【笠原委員】**

実際、頸城の中にも悩んでいる人たちがいると思う。そういう人達と意見交換をして自分たちの意見を反映していくという方向は取れないのか。

**【提案団体】**（頸城活性化プロジェクト）

我々が活動を行っていけば必ず20歳以上の若い人たちがまた出てくると思うが、我々と20歳下の方々が、これから交流は出来るのかということも考えていくことが重要ではないかと思う。

**【井部会長】**

- ・他に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.1 3 「大池・小池の歴史を次世代にアートとして残す事業」について審査を開始

- ・ 審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・ 提案団体に事業の説明を求める。

**【提案団体】**（頸城活性化プロジェクト）

No.13「大池・小池の歴史を次世代にアートとして残す事業」について提出資料をもとに説明

**【井部会長】**

- ・ 委員に質疑等を求める。

**【山本光夫委員】**

頸城活性化プロジェクトから2件も提案が出ているが、こちらにある規約とか会則というのは2通出されて、1通も添付されていないが作ってあるか。

**【提案団体】**（頸城活性化プロジェクト）

規約と会則あり。

**【山本光夫委員】**

これを見ると付けるようにと依頼も書いてあるけれども、どのように解釈されているのか。

**【提案団体】**（頸城活性化プロジェクト）

去年こちらの事業を提案させていただいた際に作ってあったものを添付するのを忘れたと思われる。

**【井部会長】**

事務方の方で規約は受けているか。

**【古川主任】**

今回の提案書を受けるに当たっては受けていない。

**【山本光夫委員】**

去年は付いているが、去年と予算が違う。

**【村山班長】**

変更が無ければ。

**【井部会長】**

変更が無ければということである。

- ・ 他に質疑等を求める。

**【佐藤委員】**



作成者というのはプロジェクトメンバーか。それともこれから募集するメンバーなのか。

**【提案団体】（頸城活性化プロジェクト）**

作成現場はメンバーの中でやる人間が決まっている。大きな物にするのか完全に決まっていらないが、見栄えのする立体が一つ欲しい。見せ方の中で小さな物を入れ込んだりすることは考えている。

**【石野委員】**

基本的にはギルドパーティーなるものが母体で、そこに皆さんを集め、意見も出てくる。出たものが具体的に例えば今回の13番のような一つの形でプロジェクトができあがるということが、毎年サイクルでやられていくという認識で良いのか。

**【提案団体】（頸城活性化プロジェクト）**

今回実際に動くのは先生だけではなくて、力を非常に生かせるメンバーと取り組むということになっている。またメンバーも増えてくれば、メンバー同士でのスキルのコラボレーションで新しい事業やアイデアが生まれてくるのではないかと。

**【船木委員】**

製作した立体アートを郷土のPRということで、大池まつり、ビジターセンターの資料館に展示するとあるが、各々許可はもらったか。事業費9万円で市の税金で作ったはいいが、置く所がなくて所有に困ったなんてことにならないか。

**【提案団体】（頸城活性化プロジェクト）**

ビジターセンターに先日交渉に言ったが、市の施設なので市との交渉が必要だということなのでその場ですぐに許可はいただけなかった。展示が可能なのかこれから確認を行う。

**【井部会長】**

- ・ 時間になったので審査を終了
- ・ No.9「くびき野レールパーク公開及び軌道改良・車輛修理事業」その後の取り扱いについて事務局に説明を求める。

**【村山班長】**

提案者から事業者へ確認をして内容の誤りを認めていただいた。結果として誤りとなった計上漏れ分は値引きとして回答をいただいた。総事業費は変わらずに今回提案させていただいた内容の数字等を修正させていただくことになる。

**【井部会長】**

添付した見積書の内容を修正するということか。

**【村山班長】**

提出した見積書の内訳の数字の訂正と合わせて、提案させていただいた提案書も連動して数字が変わってくるのでそちらの提案の修正もお願いしたい。

**【井部会長】**

中断をしていたプレゼンテーションNo.9についての事務方の方との打ち合わせについて話が合ったが取り扱いをどうしたらよいか皆さんの意見を聞きたい。

**【上村委員】**

この場を差し戻して、もう一回受付をやり直して、もう一回精査して上げ直す。口頭で説明をするような問題ではない。

**【井部会長】**

・他に質疑等を求める。

**【関川副会長】**

上村委員に逆らうようだが、金額訂正によって事業の中身そのものが大きく変わるわけではない。ただし書類の不備であるということは明らかである。事務局の説明の通り、総額は変わらないので、訂正の数字を今ここで委員の皆さんに手書きで修正して頂いて、この先の採点の方は予定通り進めていき、正式な書類については後日訂正版で改めていただくという形でいかがか。

**【上村委員】**

補助金が余っているわけで、当然今後会長が諮ってこれをどうするかという話が出ると思う。その中で改めて上げてもらうのが私は筋だと思う。しかし会長がそういう折衷案であれば理解する。

**【芳賀委員】**

副会長が言う方向でも良いと思うが、ここで指摘しておきたいのは諸経費が40%も掛かっているのをそのまま出してきたということは、今回だけではなく他の組織についても全然見積もりを精査しないで受け取っているのではないかという指摘をしておく。

**【橋本委員】**

申請金額が変わるということになれば、あるいは自己資金が変われば再申請だと思

うが、今ほどの説明のように見積書の差し替えで済むのであれば副会長の提案された内容で良いのではないかと思う。

**【佐野委員】**

チェックミスもあると思うが、我々に対してもだいぶ早めに頂いている。我々がそれだけの能力があって、ちゃんとチェックできれば早めに事務局にも伝えられた部分ではないかと思う。我々のミスもあるわけで、ここは穏便に副会長の顔を立てていただきたい。

**【井部会長】**

いずれにしろ受付段階で事務方のミスは反省しなければならない。

**【橋立所長】**

大変皆様方にご迷惑とお時間を頂き、事務方の方も今日の事を反省してきちんとチェックしていきたい。

**【関川副会長】**

原則的には上村委員のおっしゃる通り。ただ先ほどの時点で私の予断と偏見で再募集があるという判断で発言できなかったのも、これからの問題でそういう考えで発言させてもらった。

**【井部会長】**

今ほど今回の受付に当たっての総合事務所所長としての発言があった。これを了として今ほど関川副会長からあった方向で今回は9番の提案については、取り扱っていきたいと思うがいかがか。

**【全委員】**

異議なし。

**【井部会長】**

先ほど中断したプレゼンテーションの続きをしていきたい。

事務方の方と打ち合わせをした結果について提案団体に説明を求める。

**【提案団体】（NPO法人くびきのお宝のこす会）**

今回の審査会で見積書に記載不備があったことについて、業者も確認の不備だったということ認めて、工事費全体の額は計算すると増えることになるが間違いがあった部分は値引きをして対応させていただくとおっしゃっていただいた。総額の工事費は変わらないので工事の内容についてもそのままということで業者の方と話がついた。

**【村山班長】**

- ・数字の訂正について説明。

**【井部会長】**

- ・委員に質疑等を求める。

**【芳賀委員】**

今回レールが傷んでいるという判断だが、例えばレールが傷んだ場合の判断基準書、または今まで定期的にやっているレール点検をされた記録があると思うがそれはあるか。

**【提案団体】（NPO法人くびきのお宝のこす会）**

今回の工事はレールが傷んだということではなくて、レールの曲りが急であるため、緩やかにする工事。定期的に施設設備等、点検してその記録を昨年ご指摘いただいてきちんと付けている。

**【井部会長】**

- ・他に質疑等を求める。

**【西巻委員】**

相見積を取られているが、新潟県の鉄道に関して第一建設工業は専門の業者である。もう一方、シビル旭は、こういう資格を持った会社なのか。

**【提案団体】（NPO法人くびきのお宝のこす会）**

第一建設工業の下請けをやっている会社で資格はちゃんとある。

**【上村委員】**

先ほどの説明の中で会全体の収入源の中で寄付金等があると言われたが、そういうお金の中から修繕費は支出できないのか。

**【提案団体】（NPO法人くびきのお宝のこす会）**

会の運営については正会員等の会費と寄付金と助成金である。寄付金というのはレールパークが、本来無料公開していてそれでは管理、運営がなかなかうまくいかないので、来ていただいた方から募金や寄付金を頂いている。その金額がかなり占めているのが今の状況である。

**【井部会長】**

- ・時間になったので、審査を終了

**【石野次長】**

- ・次回の協議会：5月下旬としたい
- ・詳しい日程については、この後の全員協議会で決めることとさせていただきたい。

**【井部会長】**

- ・委員に質疑等を求めるがなし
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-530-2311（内線 212）

E-mail：[kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。